



令和8年度「船上山スキルアップセミナー①（体験編）」実施報告書

I 事業の概要

Ⅰ 期 日 令和8年5月30日（土）～5月31日（日）



2 日程

5月30日（土）		5月31日（日）	
10:00	受付開始	6:30	起床
10:30	出合いのつどい・オリエンテーション	7:00	朝のつどい
11:15	アイスブレイク	7:20	そうじ
12:00	昼食	7:45	朝食
13:00	主催事業紹介	8:45	退所点検
13:30	レクリエーション研修	9:00	イニシアティブゲーム研修
15:40	クラフト研修	10:30	調理研修（パン・シチュー作り）
17:00	サポーター役割決め・休憩	13:30	片付け完了、感想記入
17:30	夕食	13:45	振り返り
18:30	ロールプレイ（子ども達との関わり方について）	14:20	解散・出発
20:30	情報交換会		
21:30	入浴		
22:30	消灯		

3 ねらい

- ・船上山少年自然の家の仲間づくりレクリエーションやフィールドでの活動を体験したりして、主催事業でのサポーターの活動について知る。
- ・グループでの体験活動を通して、参加者同士の親睦を深める。

4 参加者数

スキルアップセミナー①（体験編）18名（島根大学15名、鳥取大学3名）



II 実施状況

当日は県内外から総勢18名の大学生が参加してのスキルアップセミナー①（体験編）となった。

前年度に引き続き、本施設の主催事業などで行うことの多い様々なレクリエーションを学ぶ場面を設定した。今回は新たに班ごとにレクリエーションの進行役を練習し合う時間を設けることで、より能動的な活動への参加を狙った。

レクリエーション研修では、まず指導員がいくつかレクリエーションを行った後、

各班で練習しあった。最初は様子をうかがっている学生も多かったが、次第に打ち解け、練習が盛り上がるようになってきた。後半にさしかかると、雰囲気も活気にあふれ、自分から全体の前で進行役にチャレンジする学生も何人か出てきた。

レクリエーション研修が終わると、クラフト研修の時間になった。本施設の主催事業では、設定したテーマに沿ったクラフトを実施している。今回は「ちっちゃい探検隊（夏の特別企画）」に合わせて、忍者衣装作りを行った。自分で衣装を作るだけでなく、参加している子どもたちへの支援の仕方や、つまずきそうな所を確認し合った。



1日目の夜は、主催事業の「ちっちゃい探検隊」で予想される子どもたちの行動への対応についてロールプレイを実施した。班ごとに場面設定を決め、その対応についてロールプレイを発表しあった。そして、一つの班が発表した後は他の班でもそのテーマについて話し合った。テーマについては、予めこちらで実際に起こり得る場面を設定し、より実践的なロールプレイに近づくことができた。

2日目は「ちっちゃい探検隊（夏の特別企画）」で行う予定の館内イニシアティブゲーム（協力型ゲーム）と調理研修（パンとシチュー作り）を行った。実際にイニシアティブゲームや調理体験をしていただく中で、子どもたちにどのような支援の声かけが必要かなどを考えていただけた。

「スキルアップセミナー①（体験編）」に参加した学生のうち、「ちっちゃい探検隊（夏の特別企画）」への関心が高まり、参加したいという学生も出てきた。また、ちっちゃい探検隊のコンセプトや企画について理解していただく場面も設定できた。「ちっちゃい探検隊」や「スキルアップセミナー②（企画編）」の参加につながるセミナーになったと感じた。

Ⅲ 総 括

Ⅰ 参加者の感想（抜粋）

- ・今まではレクリエーションをしてもらうことしかなかったが、この活動を通しレクリエーションをする立場になったことで様々な発見があった。一見ただ楽しいだけの活動に見えても他の人と話す機会が自然に設けられているなどの工夫がなされていることに驚いた。また、ロールプレイでは自分なりに解決できたと思っていたが、先輩の意見を聞いてみると考えられていない事が多くあり参考になった。
- ・今回初めて船上山に来て、様々な価値観や物、体験、人に触れられたのがとても楽しかった。レク研修ではレクを学ぶだけでなく、どのように進めたら盛り上がるかを追求できる構成がとても良く、多くの学びがあった。ロールプレイでは現場で実際に困ることを想定し、班のロールプレイを元に考えるという構成のおかげでより深く、リアルに考えることができた。全ての研修内容で実践に直接つながることを深く考えることができてよかった。大学生はあくまで「サポーター」であり、子どもたちの自主性や成長を促す役割があるというのを強く実感し、船上山で大切にしたいことを体感できたのが嬉しいです。

2 成 果

- ・レクリエーション研修では練習する時間をしっかりとったが、練習の時間内で班ごとにコミュニケーションを活発に取り合い、現場で進行役を担う際の理解が深まった。
- ・主催事業「ちっちゃい探検隊（夏の特別企画）」を想定した活動を実施し、学生からの意見を参考に、主催事業に活かすことができた。
- ・夜のロールプレイ活動について、参加した学生の多くから「深い学びにつながった」という感想が聞けた。

3 課 題

- ・今回イニシアティブゲームについては、限られたゲームの実践しかできなかったのので、次回は他のゲームについての学習場面を作りたい。
- ・調理体験では、パン作りとシチュー調理を実施したが、工程に手間がかかるものに関しては2品では無く、一品としたい。

